

植栽時期

春から夏(4月～6月・9月)…最低気温10度以上になってから成長するため、4月から9月の植栽がオススメです。
(寒冷地や山岳地帯を除く)
また、真夏の気温が高すぎる日の植栽は枯れやすいので、避けてください。

休眠期

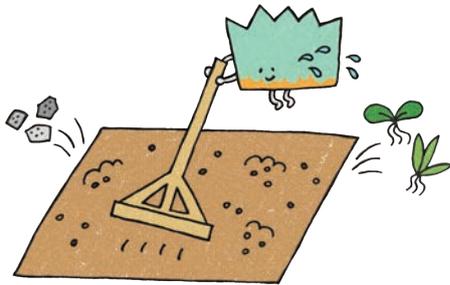
秋から冬(11月～3月)…気温が10℃以下になると、徐々に休眠期に入ります。冬枯れして茶色い景観になり、春になると再び緑が芽吹きます。

植栽する場所

◎日当たりの良い場所(日照時間が1日5時間以上) ◎保水性があり、水はけが悪くない土壌
※常に湿っている、または極端に乾燥している土壌などは、成育が悪くなる場合があります。

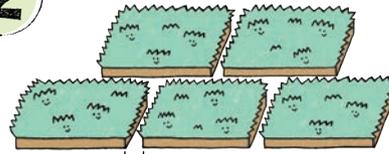
植栽方法

1

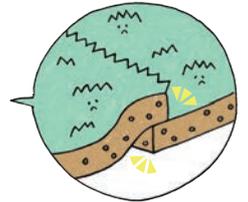


雑草や石などを取り除き、凸凹がなくなるよう整地します。
※土が固い場合は、軽く掘り起こします。

2

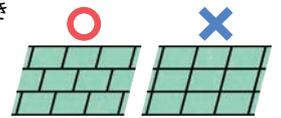


指一本分空ける

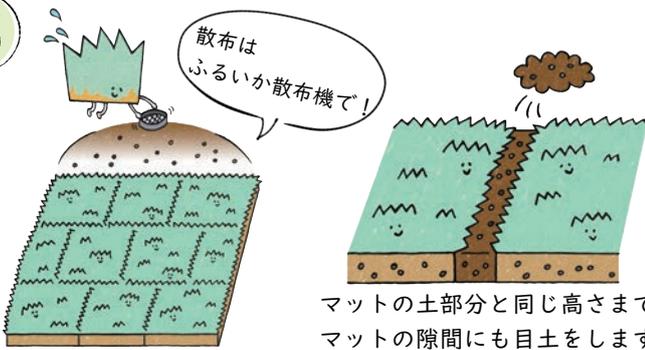


※重ならないように注意する。

指一本分の間隔を空けてロール芝を敷きます。目地を十字に合わせてしまうと、水やりや雨で目土が流れてしまうので、目地はずらして敷きましょう。



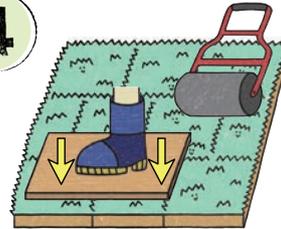
3



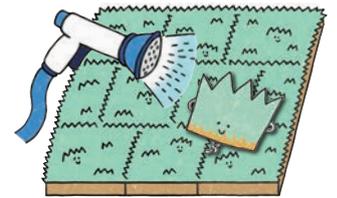
芝生全体に薄く土を蒔きます。

マットの土部分と同じ高さまで、
マットの隙間にも目土をします。

4



ローラーで転圧したり、
平らな板の上から踏み締めて、
芝生の苗を地面に密着させます。



散水をして完成!

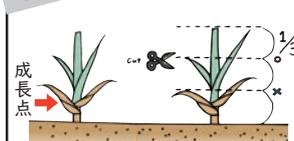
※完全に活着するまで、
約2週間、1日2回は
たっぷりとお水をあげ
てください。

芝刈り

マットでの植栽の場合は、根が活着してから(植栽後2週間くらい)を目安に芝刈り機等を使用して芝刈りをします。

- ・活着前に芝刈り機を使用すると、めくれたりズレたりして成育に影響が出る事がありますので注意してください。
- ・活着前に芝が伸びてきてしまったら、めくれやズレに注意して芝刈りばさみやバリカン等を使用してカットしましょう。
- ・刈り高は、2.5mm程度を保つときれいな景観を保てます。
- ・伸びすぎてしまった場合は、1度に低く刈り込むと軸刈りになって芝生を傷めてしまうので、何回かに分けて徐々に刈り込みを行ってください。

GOOD



成長点より高い位置で刈り込みをする。

BAD



成長点より低い位置での刈り込みは、芝が緑になるまで時間がかかり、場合によっては枯れてしまう。

肥料

芝刈り直後と成長期の肥料が効果的!

- ・月1度くらいを目安に、計3～4回。(植栽時期にもよるため、芝生の状態を見ながら!)
- ・芝刈り直後と成長期(7～8月頃)にあげるのが効果的です。

肥料をあげた後は、たっぷりとお水をあげましょう!
※お水が不十分だと、肥料焼けをおこすことがあります。

1回1平米あたり
約20g

強健・耐暑性・耐乾性を持つ高麗芝の新品種

ウィンターフィールド



35cm×26cm
20枚セット
(約1.82平米分)

省管理型！

草高抑制に特化しているため、草刈り回数の軽減が可能です。



細かく美しい芝草！

葉幅が狭く、葉長も短め。節目が詰まっており、緻密で均一なターフが特徴です。



伸び広がりが早い！

普通の高麗芝より、ほふく茎の本数が非常に多く、ターフ形成が短時間で整います。



緑が長く楽しめる！

冬枯れが遅く、緑色の保持期間が長い傾向があります。(地域により、差異が出ない事もあります)



踏圧に強い！

擦り切れに対する修復・回復力に定評があるので、スポーツターフとしての使用もできます。

